

第3回「楽天証券ファンドアワード」 最優秀ファンドが決定

楽天証券株式会社（代表取締役社長:楠 雄治、本社:東京都世田谷区、以下「楽天証券」）は、第3回「楽天証券ファンドアワード」における最優秀ファンドを決定しましたので、お知らせします。「楽天証券ファンドアワード」は、他社が運営しているファンドアワードと比較し、より個人投資家の視点を評価に反映できるよう、最優秀ファンドの選出はすべて楽天証券のお客様の投票で決定しています。今回の選出は、前回から大幅な増加となった、約27,000名（前回の約3倍）のお客様からの投票をもとに計8本の最優秀ファンドを決定いたしました。

■第3回 楽天証券ファンドアワード最優秀ファンド一覧

ファンド名	運用会社
■国内株式部門	
三井住友・配当フォーカスオープン	三井住友アセットマネジメント
■海外株式部門	
<購入・換金手数料なし>ニッセイ外国株式インデックスファンド	ニッセイアセットマネジメント
■国内債券部門	
三井住友・日本債券インデックス・ファンド	三井住友アセットマネジメント
■海外債券部門	
三菱UFJ/AMP グローバル・インフラ債券ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	三菱UFJ 国際投信
■国内不動産（リート）部門	
野村インデックスファンド・J-REIT	野村アセットマネジメント
■海外不動産（リート）部門	
野村インデックスファンド・外国 REIT	野村アセットマネジメント
■バランス（可変配分）部門	
東京海上・円資産バランスファンド（年1回決算型）	東京海上アセットマネジメント
■バランス（固定配分）部門	
三井住友・ライブビュー・バランスファンド50（標準型）	三井住友アセットマネジメント

■第3回「楽天証券ファンドアワード」

楽天証券は、2016年より、個人投資家の資産形成を支援することを目的に、「楽天証券ファンドアワード」と題し、優秀なファンドの選出、運用会社の表彰を行ってまいりました。3回目となる今回も、独自の定量評価指標である楽天証券「ファンドスコア」を用い、計24ファンド（8カテゴリーの表彰部門から各3ファンド）を優秀ファンドとして選出した後、楽天証券のお客様の投票により、各表彰部門1ファンドずつ、計8本の最優秀ファンドを決定いたしました。

なお、優秀ファンドの選出方法については、楽天証券投信評価諮問委員会による公平性の確認を経て実施しています。

※詳細は楽天証券ホームページの特設ページをご覧ください。

<https://www.rakuten-sec.co.jp/web/special/fundaward/>

楽天証券では、今後も個人投資家のお客様のニーズに合わせたサービスや商品の充実を図るとともに、お客様の資産形成に貢献してまいります。

■選出方法

【優秀ファンド】

下記1)、2)の順位を合算し、部門ごとに上位3ファンドを選出

- 1) 2017年12月末時点の3年スコアの順位
 - 2) 2016年1月末から2017年12月末までの1年スコア（24期間）の平均順位を合算
- ※ただし、下記条件に該当する場合は次点のファンドが繰上げとなります。

- ・純資産残高が30億円未満の場合
- ・既に受賞が確定している銘柄と同一のマザーファンドで運用されている場合
- ・楽ラップ専用ファンド
- ・確定拠出年金専用ファンド

【最優秀ファンド】

優秀ファンドとして選出された8部門計24本を対象とし、楽天証券のお客様の投票により、各部門1本ずつ、計8本の最優秀ファンドを決定いたします。

- ・投票者：楽天証券に証券総合口座を開設済みのお客様（投票は一人1回）
- ・有効投票数：約27,000件
- ・投票期間：2018年3月15日（木）～2018年4月27日（金）

以上

【手数料等およびリスクの説明について】

楽天証券の取扱商品等にご投資いただく際には、各商品等に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。各商品等へのご投資にかかる手数料等およびリスクについては、楽天証券ホームページの「投資にかかる手数料等およびリスク」ページに記載されている内容や契約締結前交付書面等をよくお読みになり、内容について十分にご理解ください。

商号等：楽天証券株式会社（[楽天証券ホームページ](#)）

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第 195 号、商品先物取引業者

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問協会